

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|--------|------------|
| ○事業所名 | キンダーハイム | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年11月21日 | ～ | 令和7年 12月5日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 37 | (回答者数) | 34 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年12月15日 | ～ | 令和8年1月10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 17 | (回答者数) | 17 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月5日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的にしている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 安心して過ごせる環境づくりが徹底されている。 | 広い活動スペース、構造化された環境、清潔な生活空間、視覚支援など、子どもが安心して主体的に活動できる環境が整備されている。 | 環境整備の方針を明確化し、整理整頓・安全点検の定期化、維持管理の効率化を進める。 |
| 2 | 職員配置が適切で、丁寧な関わりが評価されている。 | 国基準を下回らない配置、1クラス3名制など手厚い体制が維持され、子ども理解が深い。 | 職員間の情報共有を強化し、役割分担や連携の質をさらに高める。 |
| 3 | 個別支援計画の質が高く、アセスメントが丁寧。 | 検査・観察・保護者意向を踏まえた計画づくりが行われている。 | 検査結果の活用方法を標準化し、計画への反映をさらに強化する。 |
| 4 | 活動プログラムが多様で、子どもが楽しみに通っている。 | 季節感のある活動、感覚・運動・指先などバランスの良い内容。 | 活動のねらいを保護者に分かりやすく伝える仕組みを整える。 |
| 5 | 保護者との連携が密で、情報共有が丁寧。 | 連絡帳・アプリ・電話・懇談など多様な手段で共有。 | コドモンやWEB発信の活用をさらに進め、情報の見える化を強化する。 |
| 6 | 家族支援・学習会・交流の機会が提供されている。 | お話し会・学習会・きょうだい参加行事などが継続。 | 参加しやすい時間帯・形式(オンライン等)を検討し、参加率向上を図る。 |
| 7 | 安全管理・緊急時対応が丁寧で信頼されている。 | 避難訓練、事故時の迅速な連絡、マニュアル整備をすすめている。 | 安全計画の周知強化、地域との連携を含めた訓練の定例化を進める。 |
| 8 | 職員研修・外部連携が進み、専門性が向上している。 | 研修内容のアウトプット機会を増やし、学びの定着と共有を促進する。 | 研修内容のアウトプット機会を増やし、学びの定着と共有を促進する。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | 環境の広さが強みである一方、維持管理の負担が大きい。 | 清掃・補修・整理整頓の負荷や職員間の意識差がある。 | 環境整備のルール化、責任分担の明確化、定期点検の実施。 |
| 2 | 職員間の情報共有にばらつきがある。 | 打ち合わせ時間不足、共有方法の不統一。 | 会議日・打ち合わせ時間の確保、共有ツールの活用強化。 |
| 3 | アセスメント結果の活用が十分ではない。 | 検査結果が計画に十分反映されない場面がある。 | 検査の読み取り研修、計画反映のプロセス整備。 |
| 4 | 活動の意図が保護者に伝わりにくい場合がある。 | 固定化の印象につながることも。 | 活動のねらいを説明する仕組みづくり、情性で行っている活動がないかの点検。 |
| 5 | 地域連携に偏りがある。 | 保育所・幼稚園との連携は強いが、医療・教育との連携が弱い。 | 連携先の拡大、訪問・見学・会議参加の機会増加。 |
| 6 | 家族支援の参加率に課題がある。 | 時間帯・形式の制約で参加しにくい家庭がある。 | オンライン開催、資料配布など多様な参加方法の導入。 |
| 7 | 安全計画・BCPの周知が十分ではない。 | アプリのみでの周知に偏りがある。 | HP掲載、説明会での共有、訓練の定例化。 |
| 8 | ヒヤリハット共有の仕組みが十分に整っていない。 | 情報蓄積・分析・再発防止策の体系化が課題。 | 報告書フォーマットの統一、分析会議の定例化、再発防止策の共有。 |

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 キンダーハイム

公表日 令和8年3月5日
利用児童数 37

回収数 34

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|---|---|--|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。 | 32 | 0 | 0 | 2 | <p>いろいろな活動に合わせて、各部屋が使われて十分に確保されていると思います。</p> <p>楽しく走って活動できるスペースは十分に確保されていると思います。</p> <p>広いスペースで伸び伸びと動けて、とても有難いです。</p> <p>十分にスペースがあると思います。</p> <p>色んな目的別の部屋があるので十分だと思います</p> <p>屋内外に活動毎に使用できるスペースがあり、人数も適切のため密にならず子供自身も楽しめていると思います。</p> <p>さくらで活発に遊んでいると思います。</p> <p>教室1つが民間療育を超えるほどあり、運動部屋は大人の運動部屋でも十分なスペースであると思います。</p> <p>園庭や各クラス部屋、それぞれ活動部屋もあり広々としていて子どもが過ごしやすいと思います。</p> <p>体を動かせる広い部屋が2つあって、とても良いです。</p> | <p>子どもが安心して過ごせる環境が整っているとの評価が多く寄せられました。子どもたちが安心して活動できる環境づくりは、キンダーハイム運営の基盤であり、日々の支援の質にも直結する重要な要素です。</p> <p>今回の結果を励みに、今後も</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動内容に応じた空間の使い分け 安全性を確保した環境整備 子どもが主体的に動けるレイアウトの工夫 <p>を継続して行い、より快適で安心できる環境づくりに努めてまいります。</p> |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 32 | 0 | 0 | 2 | <p>子供達の人数に合わせて適切だと思います。</p> <p>しっかり見ていただけているので、大丈夫かと思えます。</p> <p>多ければ良いってものでもないと思うので今の配置数で十分だと思います</p> <p>発達状況により〇人に対して1人と職員さんの配置を下させているので安心できます。また補助の職員さんがいることにより、イレギュラーの対応もして下さっているのが助かっています。</p> <p>生徒数がフォローが行き届く数だと思います。</p> <p>手厚く見て頂いているので、安心です。</p> | <p>子ども一人ひとりに目が行き届いているとの評価が寄せられました。今後も、子ども一人ひとりに丁寧に向き合える体制を維持しつつ、より質の高い支援が提供できるよう、職員配置や役割分担の見直しを継続してまいります。</p> |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | <p>はい、しっかり適切な配慮がされています。</p> <p>段差もなく、こどもにわかりやすくなっていると思います。</p> <p>分かりやすく、障害があってもすぐ覺えられると思います</p> <p>平屋で回遊出来る建屋であることや、中庭周りが大きなガラス扉であることで子供が常に大人の視界から外れることなく過ごせると思うので、造りも安心感があります。生活空間も手洗い場やトイレ、ホールなど扉をなくしていたり、色を変えたりとわかりやすい様々な工夫がされていて過ごしやすい環境だと思います。</p> <p>バリアフリーで廊下も明るく日当たり良く行き来しやすい、各自の教室に写真や作品を展示されているのも分かりやすいと思います。</p> <p>子どもの椅子に写真を貼ることでその椅子が誰の席なのか分かったり、生活の中で順番待ちが生じた際には写真を板に貼って動かすことで目で見て自分の順番がわかる等の工夫がされている</p> | <p>動線の工夫や見通しの持てる環境づくりが評価されました。今後も、子どもの発達特性に応じた環境調整を継続し、より分かりやすく、安全で、安心して過ごせる生活空間の整備に努めてまいります。</p> |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | <p>いつも清潔にお掃除されています。</p> <p>楽しく心地よく過ごせるかなと思います。</p> <p>いつも楽しそうなので、心地よく過ごせていると思います。</p> <p>先生方が子供たちが帰ったあとおもちゃ等を拭いている姿を見て清潔感を強く感じました</p> <p>退園時間になると、先生方がおもちゃの消毒やお掃除をして下さっている様子を拝見することがあります。寒さ、曇さ、乾燥などにも普段過ごす教室で対応して下さいませ、とてもありがたいと思っています。</p> <p>教室では遊び、机上遊び、光の保育など保育に合わせてきれいに整理整頓されているし、水回りも清潔に見える。</p> | <p>清潔さが保たれ、活動に合わせた空間づくりが丁寧に行われていると評価されました。今後も、子どもたちが「安心して過ごせる」「気持ちよく活動できる」と感じられる環境づくりを大切に、より快適な生活空間の維持に努めてまいります。</p> |
| 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 32 | 1 | 0 | 1 | <p>こどもの成長に合わせて、その時その時に必要な支援を受けられている。</p> <p>試行錯誤しながら、子供の特性に向き合って支援して下さいませと思っています。</p> <p>色々していただいていると思います。</p> <p>個別支援計画がとても細かく、キンダーでないと受けられない支援を受けていると思っています</p> <p>"現状の子供に対しての支援を常々考えて下さっていて、機嫌や体調によって関わり方を変えて下さっているのだなといつも感謝しています。</p> | <p>子どもの特性を理解した丁寧な支援が高く評価されています。</p> <p>今後も、子どもたちが「あそび」を通じて「できた」「わかった」「たのしい」と感じられる経験を積み重ねられるよう、専門性の向上と支援の質の維持・改善に努めてまいります。</p> | |
| 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 32 | 0 | 0 | 2 | <p>間違い無いと思います</p> <p>専門的な支援は勿論ですが、親に対する学びの場を提供して下さったり、「遊び」を通じていろいろな療育を行って下さることで、日々子供自身が楽しんで集団生活を出来ているのだと感じます。</p> <p>保育行事も体調不良の子供たちが多くと日程ずらして実施してくれ、配慮も行き届いていると思います。</p> | <p>公表されている支援内容と実際の取り組みが一致していると評価されました。今後も、支援内容の透明性を大切にしながら、子どもたちの成長に寄り添う質の高い支援を継続してまいります。</p> | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|--|----|---------------|-----|--|--|--|
| 適切な 支援の 提供 | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | 毎日子どもと向き合ってくれ、子どもの事をしっかり理解してくれ、保護者の意見も考慮した上で支援計画を作成されていると思います。 "色々とお話を聞いて下さりながら支援計画を作成されていると思います。" 子どもの事をしっかりわかってきていますし、保護者の意見もしっかり聞いた上で作成されていると思います。 個別支援計画が本当に細かく、親でも知らない部分などを十分に理解してくださり毎回びっくりしています 親でも気付かなかった園での子供の成長をみて支援計画を作成して下さっていて、園で出来ることを家でも実践してみたり、初めてのことで右も左もわからない状態でしたが、「子供にどうなってほしい」や「なにが出来ない」などヒアリングをしっかりと下さったりと支援計画を都度見返して家で子どもに関わることが出来ています。 計画は前もって保護者に聞き取り提出あり、面談等で担任の先生方とやり取りあり作成されている。 今の困りごとに対して言葉かけをどうしてるか等、とても細かく書いてくださっているとあります。 | 子どもと家庭の状況を丁寧に把握したうえで計画が作成されていると評価されました。今後も、子ども一人ひとりの成長を丁寧に支えらるよう、計画の質の向上と情報共有の充実に努めてまいります。 |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | 親へのフォローも十分だと思います 計画達成に向かって受ける支援も過程として提示してもらっている。 全てのガイドラインに目を通せてないので細かくは分かりませんが、必要なものはしてくださっているとあります。 | 子どもと家庭の状況を丁寧に把握したうえで計画が作成されていると評価されました。今後も、ガイドラインに基づいた質の高い計画づくりを継続し、子どもと保護者の双方にとって分かりやすく、実感のある支援につなげてまいります。 |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 32 | 1 | 0 | 1 | はい、そう思います。 しっかり出来ていると思います。 行われていると思います。達成されていることが多くて嬉しいです 目標と定めていただいたことへ様々なアプローチで取り組んで下さっていると思います。それでも無理をさせないと子供のことを第一に考えていただいていると思います。 キンダーさんの楽しんで取組む支援が受けられて、合っていたのも大きく、子供は成長している実感があります。 支援計画書に沿った支援は行なわれていますが、言葉や文字を使った支援をもう少し取り入れてほしいと思います。 | 多くの保護者の皆さまから「計画に沿った支援が行われている」との評価をいただきました。 自由記述でいただいた「言葉・文字・数への支援をもう少し取り入れてほしい」というご意見については、今後の支援内容の検討や活動構成の見直しに活かしていくべき重要な視点として受け止めています。 子どもの発達段階に合わせ、無理なく取り入れられる形で支援の幅を広げていけるよう、職員間で共有し改善に努めてまいります。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 32 | 1 | 0 | 1 | 月プログラムの内容がもう少し色々あればと思う事はあります。 毎日違う事をしてきています。 色々なことを経験させてもらっているとあります 様々な活動プログラムを実施いただけていると思います。年間行事などは固定して季節感を感じられる工夫もしていただいています。感覚遊びや運動遊び、指先を使うプログラムなど今日は何を楽しく来たのかなと親も楽しみにさせていただいています。 毎月の保育の時間は、プール保育や遊び、園庭など季節に沿った活動に思っています。 毎月園日より活動が記入してあり、分かりやすいです。 | 多くの保護者の皆さまから「活動プログラムが固定化されず工夫されている」との評価をいただきました。 自由記述では、活動の多様性や季節感、工夫の豊かさに対する高い評価が寄せられました。また、「月プログラムの内容をもう少し増やしてほしい」というご意見については、活動の幅をさらに広げるための改善ポイントとして真摯に受け止め、今後の検討材料として活かしていきます。今後も、子どもたちが「今日は何をやるのかな」とワクワクできるような、多様な魅力的な活動プログラムの提供に努めてまいります。 |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 33 | 1 | 0 | 0 | 年に1回の交流保育があります。 いつもと違うところで過ごすことはいい刺激になるので先生方の負担はとも大きいとは思いますが、もっと回数を増やしてほしい。遠足などない分、多ければ嬉しいです。 今回はインフルエンザの関係で交流出来なかったため、少し季節を変えた方がいいのかなと思います キンダーハイムにいる子どもたちをとおくさんの人を知ってほしいので、いろんな場面で交流をふやしてもいいかなと思う 保育所、今川学園さんにバスを使って交流させてもらった。 今川学園との交流や、ふれあい祭り等での地域との交流がある | ほとんどの保護者の皆さまから「交流の機会がある」との評価をいただきました。 自由記述では、交流の意義を感じている声と、さらなる機会拡大への期待が寄せられました。また、「交流の回数を増やしてほしい」「季節を変えて実施してほしい」というご意見は、子どもたちの経験の幅を広げるための大切な視点として受け止め、今後の交流計画の検討に活かしてまいります。 |
| 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | しっかり説明していただきました。 不明な点はありません 入園説明会から資料、スライドをつかって丁寧に説明を受けました。 "見学時や、入園前の説明会、資料等にも書いてあります。 都度わからない場合は電話すれば教えていただけます。" | 説明が丁寧に分かりやすくと評価されました。今後も、制度や支援内容を分かりやすくお伝えし、安心して利用いただける環境づくりに努めてまいります。 | |
| 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | 家庭訪問や懇談でしっかり説明してもらえます。 丁寧にされます。 ひとつひとつ、しっかり説明があります。 沢山説明してもらっています 面談の場所を設定して下さり、毎回時間もしっかり取って説明してくださっています。質問などにも丁寧に答えていただけて、とても安心してきますし、感謝しかないです。 家庭訪問、懇談いずれも個別に時間いっぱい説明を受けています。 前期後期で担任より支援内容の説明があった | 支援内容の理解につながる丁寧な説明が行われていると評価されました。今後も、計画の透明性と分かりやすさを大切にし、保護者の皆さまと共に子どもの成長を支える姿勢を継続してまいります。 | |
| 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 32 | 0 | 0 | 2 | お話しや勉強会を定期的に開催してとても勉強になります。 ちょこちょこあると思います。 勉強会は楽しみです "お話しや学習会などの場をご準備いただいて、参加することで新しく知れることがたくさんありました。 事情により不参加になっても資料を提供いただけてたいへん助かっています。" お話し、専門家講師に勉強会が開かれており、希望すれば受けられて専門的なことから日常のことまで勉強させてもらっている。 保護者のお話しや勉強会などあり、参考にあります。 | 家族向けの学習会や情報提供が行われていると評価されました。今後も、保護者同士がつながり、学び合い、安心して子育てができる場づくりをさらに充実させてまいります。 | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| 保護者への説明等 | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 34 | 0 | 0 | 0 | おたよりや電話など、気になる事は常に共有できていると思います。すぐ共有して下さい。 何かあればすぐ伝えてくれますし、こちらにも聞いていただけます。コドモンで写真も付くようになったので理解が増えました 日々の連絡はアプリで様子を教えていただき、何かあればお電話でも共有いただき、細やかな対応を下されています。 連絡帳は担任の先生方が丁寧に書いてくれており、こんな困った事が出来たこと等も伝えて共感、進捗は伝達出来ている。 "連絡帳や電話等で園の様子を伝えてもらっています。 困りごとに対して希望あれば都度、電話で話して下さっています。" 毎日、アプリで報告させてもらえるので、助かります。 | 連絡帳やアプリを通じて丁寧に共有されていると評価されました。今後も、子どもたちの健康・発達を共に見守りながら、保護者の皆さまと一体となって支援を進めてまいります。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | 家庭訪問、懇談などあります。 丁寧に話を聞いて頂いたりしています。 相談した事は一緒に考えているような提案をしてくれます。 悩みを聞いたらアドバイスをもらっています 気になることは連絡帳で聞いてみたり、電話をした際にお話を聞いていただいたりといへん助かっています。 前期、後期懇談は設定されており、食べれなくなった時に直接登園した時は担任の先生方、看護師にも話が出来ます。 | 子育ての不安に寄り添う丁寧な助言が評価されています。今後も、保護者の皆さまが気軽に相談でき、子育ての不安や悩みを一緒に考えられる場づくりを継続してまいります。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 34 | 0 | 0 | 0 | 手厚いと思います。 こちらの気持ちに寄り添って来ています。 いつも肯定してくださります お電話の際に、担任外の先生がご対応下さっても皆さんが自分の子供のことを理解して下さっている安心感や、パスで添乗して下さっている先生方など、どの先生でも自分の子供のことを理解して下さっていて、事業所全体で子供のことを支援して下さっているのだなと感じています。 担任の先生方は連絡帳はよく読んで、子供を見てくれているなどと思います。 | 子どもや保護者の気持ちに寄り添った温かい関わりが高く評価されています。今後も、子どもと保護者の気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる温かい支援を継続してまいります。 |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 31 | 0 | 0 | 3 | 秋祭りなどきょうだいで参加できるので、ありがたいです。 1度も同じクラスになったことがない保護者さんとも話せて楽しいです 保護者会懇親会もあり、秋祭りも開催されており、希望あれば支援を受けられる 保護者向けの会に参加すれば、内容に沿って親同士の情報交換などできるので参考になっています。 園できょうだいが遊べるように開催して下さっている時期もあります。 きょうだい同士の交流については、きょうだいの年齢や性格、その日の習い事・用事等色々な影響で、イベント開催があってもなかなか交流できてないとき等があります。 お話し会と勉強会などキンダーに通う他の親御さんとも交流が出来る機会があります。 | 保護者会やイベントなど、ご家族全体を支える取り組みが行われています。きょうだいの予定に左右されにくい企画が求められています。こうした声は、今後のイベント企画や参加しやすい環境づくりを考えるうえで大切な視点として受け止めています。今後も、ご家族全体が安心してつながり、学び合える機会をさらに充実させてまいります。 |
| | 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | 相談等、気になる事があれば直ぐに対応して下さい。 いつでも言ってねと言っていただけでいいです。 すぐアドバイス下さります 連絡帳だけでなく、電話でも風邪症状等の些細なことでも先生方とも親切で優しく相談しやすいです。 | 気になることがあればすぐに対応してもらえると評価されています。今後も、子どもと保護者が気軽に相談でき、安心して過ごせる環境づくりを継続してまいります。 |
| | 20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 33 | 1 | 0 | 0 | されていると思います。 なされると思いますが 日常の連絡は細やかで、出来たこと、イスから落ちてしまったことなど園での出来事は把握出来るし対応は安心できる。 言葉が出ていない子の園での情報（ご飯、行動、お漏らし等）をもう少しもらいたいです。 | 日々の連絡が丁寧に園の様子がよく分かるとの声が寄せられました。また、「言葉が出ていない子の細かな園での様子をもっと知りたい」というご意見は、保護者の安心につながる大切な視点として受け止め、今後の情報共有の改善に活かしてまいります。子どもと保護者の双方が安心できる、丁寧に分かりやすい情報伝達に努めてまいります。 |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 34 | 0 | 0 | 0 | 連絡帳、毎回楽しみな位です。内容が分かりやすく、どんな活動をして等を細かく記入されているので嬉しく思います。 活動概要等もこまめに配信されていると思います。"もっと今の時代と合わせ、キンダーのアカウントを作りもっと世間に発信していくのもいいと思う。" 写真を送ってくださるようになってすぐ分かりやすくなりました 毎月コドモンで園のおたより、クラスの保育行事は担任の先生方から紙で頂いている。 毎月のおたよりやアプリの連絡帳など、紙とデジタル両方を使われて伝達して下さっています。 | 連絡帳・アプリ・紙媒体などで分かりやすく多様な手段で情報が発信されていると評価されました。SNSなど新しい発信方法への期待については、時代と合わせた情報発信の在り方考えるうえで貴重な視点として受け止め、今後の検討材料として活かしてまいります。 |
| | 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | していると思います。 留意されていると思います 病気は個人特定されないよう、必要最小限にされているし、漏れたようなことは聞いたことがない。 | 必要最小限の共有にとどめるなど、適切に管理されていると評価されました。今後も、個人情報保護の重要性を再確認しながら、より安全で信頼できる情報管理体制の維持・向上に努めてまいります。 |
| | 23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 32 | 0 | 0 | 2 | お手紙でお知らせをしております。 定期的にお知らせをしております。 避難訓練も何度も繰り返すうちに参加できるようになりました 頂いた入園資料にマニュアルは入っていたし、コロナ、インフルエンザ流行りの時には登園時期が記載してくれている。 | 事故・災害・感染症等のマニュアルが整備され、周知されていると評価されました。今後も、マニュアルの見直しや訓練の充実を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを継続してまいります。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------|----|--|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 非常時等の 対応 | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | 避難訓練をされています。 毎月、避難訓練をしてくれています。 パターンを変えて訓練してると思いますが "月に1度避難訓練の日が設定されていて、子供自身もこの放送がなるとこれをする。と慣れた様子で参加していると伺っています。 最初は慣れずに参加出来なかった訓練にも参加できるようになることで、災害時でも安心して行動できるように準備いただけていると思います。" 毎月子供は避難訓練を実施してもらって備えている。 避難訓練で避難場所まで実際に行く等の訓練がされている 避難訓練定期的にしていただきありがとうございます。 | 毎月の避難訓練が実施され、子どもが慣れて参加できていると評価されました。今後も、災害時に落ち着いて行動できるよう、訓練内容の充実と安全管理体制の強化に努めてまいります。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | コドモンで写真で訓練風景を見れるようになったので十分だと思います 教室、建物の出入り口には施錠されており、出入りの際は必ず施錠しており安全だと思います。 | 施設管理や訓練の実施など、安全対策が徹底されていると評価されました。今後も、計画の見直しや日常の安全管理を継続し、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 33 | 0 | 0 | 1 | お手紙やお電話でしっかり説明されています。 小さな怪我も丁寧に報告して頂いてます。 程度によってはすぐに電話で伝えてくれたりします。 小さなことでまず知らせてもらっています 都度ご連絡をいただき、受診に必要なものや、受診の様子、受診に至った経緯なども事細かに説明して下さっています。 発熱した時にはすぐに連絡を買って直接お迎えにいかれた。おかげで病気受診もすぐに行けた。 | 状況説明が分かりやすく、必要な対応も丁寧に行われていると評価されました。事故対応の体制が保護者の皆さまに確かに伝わり、信頼を得ていることを示すものです。 今後も、子どもたちが安全に過ごせるよう、迅速で丁寧な対応を継続してまいります。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 34 | 0 | 0 | 0 | 安心感、十分あると思います。 安心して通っています。 キンダー大好きです 行き渋りは数えるほどしかなく、先生方には親に目えるように寄りかかったりしている様子を見たりすると、そこまで安心して目えられる環境を作っていたらいいのだと思います。 入園前の慣らし保育のみ緊張、教室から出たがったが、通園バスから喜んで通っています。 毎朝とても楽しく通っています。 先生方を信頼しています。 | 職員との信頼関係が築かれ、安心して過ごせていると評価されました。これからは、子どもたちが「ここなら安心できる」「ここが好き」と思える環境づくりに努めてまいります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 33 | 1 | 0 | 0 | 毎日喜んでバスに乗ってます はい、毎日楽しく通所しています。 すごく楽しみにしています。 とっても楽しみにしています。 朝バス停まで走って行きます 通園に利用しているリュックを見せると、自分から進んで準備をする様子が見られますので楽しんで通えているのだと思います。 直接登園時には靴も靴下も玄関で脱いだら、止めるのも聞かず走って教室まで文字通り飛んで行った。 毎日、にこにこしながら、出発します。 その時の気分や、前日の生活次第で変わります | 毎日の活動が意欲につながり、楽しみに通っている様子が伺えると評価されました。今後も、子どもたちが「今日も行きたい」と思える環境づくりに努めてまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 34 | 0 | 0 | 0 | 大満足です。 手厚い支援の園だと思満足しています。通う様になり、色々と成長が見れて嬉しいです。 満足しています。 キンダーに行けて良かったといつも思っています。ありがとうございます。 "たいへん満足しています。いつもありがとうございます。" 障がいかわかってから療育に通うも言葉も後退、成長も見られず、言葉の通じない子供相手に教えられないのではないかと落ち込んでキンダーさんの門をたたきました。障がいある子供の保育は大変ですが、今、期待以上の成長を見させてくれて感謝しております。 すごく満足しています。 いつも細かいところまで、気付き、フォローして下さるので、大満足です。ずっと通いたいです。 | 手厚い関わりや成長の実感が高く評価され、満足度が非常に高い結果となりました。こういった声は、職員にとって何よりの励みであり、支援の意義を改めて実感するものです。今後も、子どもと保護者の皆さまに「ここ良かった」と思ってもらえるだけの支援を継続してまいります。 |

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 令和8年3月5日 | | | | |
|---------|---|--------------|-----|---|---|--|
| キンダーハイム | | | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 11 | 2 | 児童発達支援センター指定基準外の設備として芝生やたんぽぽやすみれやさくらの部屋がある。屋内遊戯室（ホール）については指定基準では30名定員だと49.5㎡40名定員でも66㎡となる。実際キンダーハイムのホールは103.81㎡であることからかなり余裕のある設備となっている。 | 昨年度と比べて「はい」が約24ポイント落ちている。実際キンダーハイム行政の基準からいうと余裕のある設備となっている。その分維持管理（掃除や補修）にコストが必要になる。既存の設備や環境をどのように活用するべきかの議論が必要。 | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 13 | 4 | 昨年度「はい」58.8%から今年度は76.5%へポイントが上昇。 1クラス3名制はキンダーハイム内部設定のため変更は可能。4:1配置が国基準であることや、登園人数に対して、配置職員数が実際に4:1を下回ることが今年度はなかった。 | 通園する児童数は減っているため、保育所等訪問支援なども含めたセンターとして外に広げていくこともすすめていく必要がある。有給休暇代替職員を配置するとすると、給与体系の変更、ワークシェアリングの考え方も入れていく必要がある。 | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 14 | 1 | 扉のサムターン金具については、修繕対応実施。園庭については、2025年度、遊具の更新（すべり台）（ウッドマウンテンのホルダー）をした | その他の環境についても整備をすすめていく。廊下にある物品については、安全面や視覚的刺激の観点からも無くすようにする。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 14 | 2 | 肯定的評価多数本来は職員が分担して担ってきた業務であるが、館内清掃に加えて、今年度は外まわり、園庭や芝生の清掃を委託している。 | 気づいた時に気づいた人が清掃・清潔・整頓をし療育環境をよくすることが原則。また発達支援室（保育室）については各クラス主担の責任のもと整理・整頓・清潔を保つこと。各保育室の不要物の整理と保育倉庫等の整理についても6月、12月、3月、に実施すること。 | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 11 | 2 | （再掲）児童発達支援センター指定基準外の設備として芝生やたんぽぽやすみれやさくらの部屋がある。屋内遊戯室（ホール）については指定基準では30名定員だと49.5㎡40名定員でも66㎡となる。実際キンダーハイムのホールは103.81㎡であることからかなり余裕のある設備となっている。 | どの場所をどう使うかというタイムスケジュールの調整などをしていくことで人と場所の問題に取り組むことなどが必要。 | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 9 | 1 | DOCAPシートなどで自らの目標と業務改善を結びつけ主体的に取り組むこともすすめている。 | 業務改善は業務削減という意味ではない。業務改善の目的が「業務を削減する」「時間を削減する」では間違いで、あくまでも「手段」として「支援の質の向上」を目指してこそ価値がある。支援の質を高めるためのPDCAサイクルとしていきたい。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 15 | 0 | 評価表だけでなく、行事毎にアンケートで把握し、改善している。 | 昨年度より高評価。 保護者の意向と利用児童の意向を尊重した上で、私たちが大切にしたいことを保護者・利用児童に説明し、同意のもとで実施するというキンダーハイムの原則を確認したい。 | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 11 | 1 | 定期的な面談に加えて、児童発達支援自己評価などにより、意見把握をするようにしている。 | （再掲）業務改善は業務削減という意味ではない。業務改善の目的が「業務を削減する」「時間を削減する」では間違いで、あくまでも「手段」として「支援の質の向上」を目指してこそ価値がある。質の向上につながる提案を出しやすくしていきたい。 | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | 「はい」が15ポイントが増えている。 第三者による自己評価の立会は昨年度から開始している。第三者的な視点による評価は地域社会から評価ともいえるため私たちが行っている支援がどのように見えるかということを知る機会になる | 現在1名の外部評価委員に委嘱しているが増やしていくことや、あるいは今年度保育所・今川学園が受けた、福祉サービスの第三者評価をキンダーハイムも受けることも検討していく。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|----|--|---|--|
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 14 | 5 | それぞれ研修計画にはねらいがあり、クラス観察やクラス総括も含めて職員の資質の向上のために実施している | アウトプットする機会としての総括発表や実践報告などを活用していければさらによくなるのでは。研修の効果を図ることも重要であるので、研修を受けた結果、何をしたかについての報告の機会を増やしていく。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 14 | 0 | 大阪市に対して提出している支援プログラムについては、コドモンでの開示も実施しています。玄関でも貼り出している。 | 支援プログラムの内容について共有し検討する機会を増やしていく。 |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 14 | 0 | 年一回保護者よりニーズ等の調査を書面で実施 | 体験保育、年に一回発達検査や言語検査を実施しているが、検査結果の活用などはまだまだ十分ではないところもある。 |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 14 | 3 | クラス以外の職員(管理職や心理士など)も一緒に相談して作成につなげることができる | 事業所内研修、児発管研修や強度行動障害支援者養成研修なども含めて支援の共通化ができる土台を築いていく。 |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 13 | 0 | クラス担当を中心として計画を共有していくようにしている。 | 計画の共有と実行については、何度も確認していく必要があることを含めて実践していく。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 16 | 0 | 新版K式発達検査、国リハ式S-S法言語発達遅滞検査をそれぞれ年一回実施している。 | アセスメントの共通理解をすすめるために語句理解などを深める取り組みが必要。 |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 14 | 0 | キンダーハイムの通園形態できることは、個別支援計画で共有し実践している。 | 就学前の子どもたちであるため、限定されているがそれぞれの項目について支援している。本人の意思確認と合意形成については丁寧に行う必要がある。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 12 | 1 | 月案（クラスだより）日案の確認を行なっている。 | 打ち合わせ時間の確保が課題。 |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 12 | 0 | 年間保育計画、月間保育計画などを立てて実施している。保護者に対する説明については、取り組み内容やねらいが伝わりにくいものは丁寧にしていく。 | 同じ素材の取り組みを2度3度とすることが良い場合もあります。同じことを毎日していないかどうかという点検ともいえるが、日課という意味では繰り返すことの意味のあるものがある。 活動の説明をできるようになることが必要で、情性でやっていると思うものについては意味があるのかないのかを検討していく必要がある。 |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 13 | 0 | 個別と集団のあり方について。クラス制グループ療育の実施をキンダーハイムは基本としている。 | 集団で過ごす中で、全体でのあそびの取り組みや食事や着替え等個々の取り組みを織り交ぜるような形で支援できるようにしていく。 |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 12 | 3 | 朝礼を実施していることから、情報の共有はできている。ラインワークスやコドモンを活用することによりさらに効率的にしていける | クラス毎のコミュニケーションが十分でないのではないかという意見があるため、会議日などについても引き続き確保していく。 |
| 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 10 | 2 | 終礼を実施していることから、全体的な振り返りは実施している。 | クラス毎の振り返りが十分でないのではないかという意見があるため、会議日などについても引き続き確保していく。 | |
| 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 12 | 1 | コドモンアプリでの記録を実施している。 | 日々の記録をコドモン上にしておくこともすすめていく。記録類についても共有化できるようにしていく方向としていきたい。 | |
| 23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 14 | 0 | 個別懇談の実施と日々の関わりにより、支援計画の見直しは実施している。 | 引き続き必要に応じての懇談や計画の見直しはできるようにしていく。 | |
| 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 14 | 0 | サービス担当者会議に参加はできるだけするようにしている。 | サービス担当者会議の意義や意図がわかっていない場合もあるので、参加できる機会を増やしていく。 | |
| 25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 12 | 1 | 相談支援専門員と、定期的な連絡によるやり取りや情報共有、サービス担当者会議を通して、他事業所との連携もしている。 | 訪問や見学など、幼稚園や保育所などの連携は強いですが、教育、保健行政、医療などの連携には課題があると思われます。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
|--------------|--|--|-----|---|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 12 | 0 | 進路先には状況引き継ぎシートを保護者さんと一緒に作成して送付している。 | 他機関との連携については、時間をどう確保するか、どのような内容にすべきかという課題がある。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 14 | 0 | 進路先には状況引き継ぎシートを保護者さんと一緒に作成して送付している。 | 先方の状況や考え方なのか、あまり共有に積極的ではないところもある。 |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 13 | 0 | 地域の事業所向けの研修の開催を前年度から実施している。「児童の発達の道筋についての研修」 | 研修の拡大や、事業所訪問なども含めて検討していく。 |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。 | 12 | 1 | 講師を呼ぶことや、ご家族やクラス担任とも異なる視点から検査担当の臨床心理士や言語聴覚士からの助言の機会は設けている。 | 検査結果の活用などが少ないためもっと活用していくようにすることが必要。外部研修についても自己研鑽としてのものと業務としてのものがあるため、福利厚生制度の改正とともに検討していく。 |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 14 | 0 | 東住吉区自立支援協議会の子ども部会、相談支援部会に参加している。 | 参加の内容についての共有が課題。 |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | - | - | - | - |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 12 | 3 | 同一法人の保育所との交流をすすめている。 | キンダーハイムは広域から通所していることもあり地域を限定しにくいところもある。交流とは何か?という原点や、交流先を拡大する方向か交流頻度を増やす方向かなども含めて検討していく。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 16 | 0 | 必要なものは保護者に即日連絡を入れるよう、迅速な対応を心がけている。 | コドモアプリの更なる活用。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 14 | 0 | お話し、保護者学習会等で保護者の方が参加して、発達のことやコミュニケーションについての勉強をする機会を設けている。 | 保護者の参加率については、低いこともあるため、できるだけ参加しやすいようにしていく。 | |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 14 | 0 | 入園見学、契約時の重要事項説明と入園後の保護者総会などで複数回説明する機会を確保している。 | ホームページやコドモアプリなどのWEBでの周知もすすめていく。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 15 | 0 | 日常の活動の様子だけでなく、アセスメント結果を活用した上で家庭訪問や懇談で時間を確保して説明するようにしている。 | こどもの最善の利益に関しては意思形成支援や意思決定支援などの考え方をさらに学び本人の参画をすすめるようにしていく。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 16 | 0 | 家庭訪問や懇談で時間を確保して説明するようにしている。 | 引き続き必要に応じて丁寧な説明し、同意を得るようにしていく。同時に計画の見直しはできるようにしていく。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 17 | 0 | コドモアプリでのやりとりや電話、懇談などで相談できる機会を確保している。 | 家庭訪問や個人懇談については期間を定めているが、それ以外でも必要な場合できるようにしている。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 15 | 2 | きょうだいむけイベントやきょうだい参加OK行事などを開催している。 | きょうだい同士の交流が大切という認識はあるが、実際に行っている内容については、把握できていませんという意見があった。共有していく方法を工夫していく必要がある。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 17 | 0 | 担当者だけで抱えるのではなく、迅速な対応を心がけています。 | 受け付けした者は必ず報告することの再確認を実施していく。新規採用者研修にも対応方法のプログラムを組み入れる。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 15 | 2 | 紙媒体による配布物とコドモアプリでの発信の両方で実施している。 | SNS(インスタ、エックス)などの活用は実施できていないが、検討していく。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 16 | 1 | 施設全体として、留意するようにしている。 | 引き続き、個人情報の取扱いについては慎重に実施するようにしていく、新規採用者研修にも対応方法のプログラムを組み入れる。 |
| 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 15 | 0 | 日本語でのコミュニケーションが困難な場合にはわかりやすい表現を心がけるようにしている。 | 文書でのやり取りし、翻訳ソフトなどを活用できるようにする。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---------|--|---|----|---|--|--|
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 8 | 0 | 感染症の予防の観点から控えてきたが、開かれた施設としていくためにも徐々に拡げていきたい。 | 今後は町会、近隣団体を招待をすることとする。地域に加えて、並行通園先や東住吉支援学校にも案内を出すようにする。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 15 | 0 | 子どもたちも入れ替わっていくため、常に必要な準備をすすめている。 | 訓練は定期的実施しているが、継続が必要である。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 14 | 1 | 子どもたちの状況も変化するため、必要な準備をすすめている。 | 業務継続計画の策定と机上訓練を経て実際の訓練につなげる過程を定例化するとともに、地域との連携（町会や近隣施設）を深める。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 17 | 0 | 資料の作成や対応に関する研修を実施している。 | 看護師との医療ケア懇談を引き続き実施していく。状況によっては嘱託医と相談していく。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 17 | 0 | 他の子どもと時間帯を変えて食べる等の対応をしていることもある。給食の提供時に、確認をして出している。 | 除去食などについては、医師の指示書に基づき対応している。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 16 | 0 | 安全計画に基づき、避難訓練を実施している。 | 事故報告による原因分析なども含めて安全な環境づくりをすすめる。 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 12 | 0 | 安全計画はコドモンアプリでみるができるようにしている。 | 安全計画についてもホームページで閲覧できるようにしていく。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 14 | 1 | 「朝礼」「終礼」時に伝達や報告があること、「全体化」という情報周知による共有手段があることで対応している。 | 怪我や事故の報告書も含めて共有しやすく再発防止を検討しやすい仕組み構築していくことが課題。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 14 | 1 | 虐待防止研修は起こるかもしれないという前提のもと何度も何度も繰り返していくものでもある。 | 支援者と利用者という構図という、支援者のワンダウンの姿勢も同様で、慣れてしまっていないかの自己点検は常に必要。 |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 15 | 0 | 身体拘束適正化委員会をはじめ、虐待防止研修などで身体拘束に関する考え方の統一を図っている。 | 本当に緊急やむを得ないことなのか、代替手段がないことなのかなどを複数の目で見えて考えることが必要だと思います。基本的に身体拘束は行わない前提となっていますが、万が一実施することとなった場合は必ず文書で記録するようする必要があります。 | |